

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成30年度実施実績及び令和元年度実施予定）

〔資料6〕

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成30年度			令和元年度
								実施実績	事業評価	備考	実施予定
1	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	とまこまいマラソンを開催する。	10月8日（日）に3km、5km、10kmの3種目を実施予定であったが、荒天により中止となった。	D (未実施)	・スポーツ推進委員も協力	10月13日（日）の開催に向けて実施内容を検討中
2	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリング、パークゴルフの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	6競技を開催し、H29年度を18人下回る1,374人の参加があった。（バドミントン競技は北海道胆振東部大地震により中止）	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・H29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
3	競技大会	子ども	中学駅伝苫小牧大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	中学駅伝苫小牧大会を開催し、中学生の健全育成とスポーツ振興を図る。	7月16日（月）に開催し、H29年度を9チーム67人下回る34チーム258人の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	なし
4	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	3月20日（水）から26日（火）に苫小牧選手団25人がカナダウォータールー市を訪問し、セレモニーや交流試合等を実施した。	A (順調に実施)	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月上旬にカナダ選手団が苫小牧市を訪問予定
5	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	1月11日（木）から14日（日）に開催し、H29年度を61人下回る103人の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・H29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
6	イベント・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年5回のウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	第3回、第5回が雨天となり、H29年度を239人下回る569人の参加があった。また、5回目のウォーキングフェスティバルはクルーズ船「飛鳥II」の寄港に合わせて港周辺で実施した。 ・6/23（土） 146人 駒澤大学周辺 ・7/28（土） 114人 日新木もれびの道周辺 ・8/25（土） 68人 拓勇小学校道周辺 ・9/22（土） 111人 中心市街地 ・10/14（日） 130人 港周辺	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	6月から10月まで月1回開催予定 ※医療機関への周知を予定 ・6/29（土） 中心市街地 ・7/27（土） 日新小学校周辺 ・8/31（土） ウトナイ小学校周辺 ・9/28（土） 駒澤大学周辺 ・10/14（月・祝） 金太郎の池周辺
7	イベント・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	八地区（錦岡、糸井、中央西、中央南、中央北、中央東、沼ノ端、勇払）で実施するスポーツフェスティバルを実施し、H29年度を90人下回る1,683人の参加があった。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
8	イベント・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	H29年度を3施設63,778人上回る、9施設188,927人の参加があった。	A (順調に実施)		各スポーツ施設において子どもから高齢者までを対象とした事業を予定
9	イベント・教室	障がい者	フライングディスク教室	【平成30年度】福祉部 発達支援課 【令和元年度】総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	6月16日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めH29年度を16人上回る44人が参加した。	A (順調に実施)	・スポーツ都市推進課とも連携	6月15日（土）に福祉ふれあいセンターで開催予定
10	イベント・教室	障がい者	ボッチャ教室	【平成30年度】福祉部 発達支援課 【令和元年度】総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	7月14日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めてH29年度を2人下回る49人が参加した。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ都市推進課とも連携	7月20日（土）に福祉ふれあいセンターで開催予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成30年度実施実績及び令和元年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成30年度			令和元年度
								実施実績	事業評価	備考	実施予定
11	イベント・教室	障がい者	車椅子バスケット教室	【平成30年度】福祉部 発達支援課 【令和元年度】総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	11月17日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めH29年度を13人下回る26人が参加した。	B （概ね順調に実施）	・スポーツ都市推進課とも連携	2月22日（土）に福祉ふれあいセンターで開催予定
12	イベント・教室	障がい者	パラアイスホッケー教室	【平成30年度】福祉部 発達支援課 【令和元年度】総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、パラアイスホッケー教室を開催する。	12月1日（土）に新ときわスケートセンターで開催し、健常者も含めH29年度2人下回る36人が参加した。	B （概ね順調に実施）	・スポーツ都市推進課とも連携	1月18日（土）に新ときわスケートセンターで開催予定
13	イベント・教室	障がい者	人権啓発活動地域委託事業	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	人権啓発活動として、障害者スポーツのボッチャとフライングディスクを小学校4校で行う。指導は講師を招き行う。	障害者スポーツのボッチャとフライングディスクを小学校4校で実施予定 ・沼ノ端小 8/30（木）フライングディスク 34人 9/ 5（水）フライングディスク 34人 12/ 7（金）ボッチャ 54人 ・明徳小 11/ 1（木）ボッチャ 28人 ・清水小 11/13（火）フライングディスク 38人 11/14（水）ボッチャ 38人 ・東小 2/ 7（木）ボッチャ 42人 2/ 8（金）フライングディスク 42人	A （順調に実施）	・人権擁護委員と協力して実施	なし
14	イベント・教室	大学生	日本学生氷上競技選手権の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	大学生の大会として最高峰の日本学生氷上競技選手権大会（インカレ）を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	12月24日（月）から29日（土）まで開催し、全国43チーム1,880人が参加した。	A （順調に実施）		なし
15	イベント・教室	高校生	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	7月31日（火）から8月5日（日）まで開催し、H29年度を1チーム25人上回る、全国28チーム715人が参加した。	A （順調に実施）		7月30日（火）から8月4日（日）まで白鳥王子アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンターで開催予定
16	イベント・教室	子ども	地域スポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支える選手を育み応援	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	・5月20日（日）にアブロス日新温水プールで五輪銀メダリストの松田丈志氏の水泳教室を開催し、60人の参加があった。 ・5月20日（日）に川沿公園体育館で元日本代表の塩野真人氏の卓球教室を開催し、147人の参加があった。	A （順調に実施）	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	・4月7日（日）に緑ヶ丘公園サッカー場リニューアルオープンと併せてサッカー教室（講師：元コンサドーレ札幌主将 河合竜二）を実施 ・7月21日（日）に陸上教室（講師：島田沙絵）を実施予定
17	イベント・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支える選手を育み応援	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・10月6日（土）に佐藤スポーツマスター（北京五輪銅メダリスト）によるマスターズ選手を対象とした水泳教室を実施し、36人の参加があった。 ・11月11日（日）に本間スポーツマスター（元王子製紙・五輪出場）による小学生アイスホッケー教室を実施し、43人の参加があった。 ・12月2日（日）に高澤スポーツマスター（元ロッテオリオンズ・首位打者）による中学生硬式野球教室を実施し、25人の参加があった。	A （順調に実施）		対象を変更して実施
18	イベント・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	スピードスケート教室はH29年度を2人下回る24人、アイスホッケーを指導するエンジョイスクールはH29年度を1人下回る315人の参加があった。	B （概ね順調に実施）	・スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成30年度実施実績及び令和元年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成30年度			令和元年度
								実施実績	事業評価	備考	実施予定
19	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	児童センター来館者数：126,956人 前年より10,473名増	A (順調に実施)		様々なボール遊びなどの運動を実施。活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。
20	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	7月12日(木)に苫小牧市総合体育館で開催し、H29年度を50人下回る45団体1,030人が参加した。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	7月18日(木)に総合体育館で実施予定
21	イベント・教室	観戦者	トップアスリートの試合開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・アイスホッケーアジアリーグ9月～2月 ・ISUワールドカップスピードスケート競技会11月23日(金)～25日(日) ・卓球Tリーグ2月2日(土)・3日(日)	A (順調に実施)		・女子ゴルフ日本ハムレディースクラシック【7月11日(木)～14日(日)】 ・フィギュアスケート浅田真央サンクスツアー【8月10日(土)、11日(日)】 ・プロ野球2軍戦【8月11日(日)】 ・女子プロ野球ティアラカップ北海道大会【8月17日(土)、18日(日)】 ・アイスホッケーアジアリーグ【9月～3月】
22	イベント・教室	観戦者	王子イーグルスとの協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケーの王子イーグルスとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、王子イーグルスへの支援及び応援活動を推進する。	各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施した。	A (順調に実施)		各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。
23 (新)	イベント・教室	観戦者	宝くじスポーツフェア「はつらつママさんバレーボール」の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	バレーボール元日本代表選手による親善試合並びに指導者クリニック、バレーボール教室を実施する。	H31年度新規事業			8月24日(土)に指導者クリニック、25日(日)を実施予定
24 (新)	イベント・教室	観戦者	青森県八戸市との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、両市で開催されるアジアリーグアイスホッケー観戦料金の一部を補助し、交流人口の拡大につなげる。	H31年度新規事業			各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。
25	補助・助成	大人	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	小・中学校の体育館やグラウンドを市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	市内の小学校23校、中学校2校を開放した。	A (順調に実施)		市内の小学校23校、中学校2校を開放
26	補助・助成	子ども	小・中・高校生各種大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツ振興を目的とした全道・全国大会出場について、その経費の一部を補助する。	市内の小・中・高校生を対象に、全道・全国スポーツ大会出場の際に、遠征費の一部を補助した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
27	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを図る。	各公共施設で配布を実施した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
28	補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をなう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	町内でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	H29年度と同実績の5町内会6リンクから申請があった。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成30年度実施実績及び令和元年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成30年度			令和元年度
								実施実績	事業評価	備考	実施予定
29	利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント10事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。	A (順調に実施)		スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント12事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。
30	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	緑ヶ丘公園サッカー場を2カ年（H29・H30）に天然芝1面を人工芝2面に改修した。	A (順調に実施)		・サッカー場リニューアルOPセレモニーを4月7日（日）に実施 ・緑ヶ丘公園サッカー場の照明設備を改修 ・R2年度に完成する白鳥アリーナ電光掲示板の改修に着手
31	利用促進	市内競技者	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	緑ヶ丘公園内スポーツ施設の一体管理を開始した。	A (順調に実施)		継続して実施
32	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	H29年度を44件上回る155件の申請があった。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
33	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	2月12日から14日まで首都圏の各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施した。	B (概ね順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
34	利用促進	市外競技者	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	H29年度を4件下回る9件の全道・全国大会が補助金を申請した。	B (概ね順調に実施)		20大会が開催予定であり、その内8大会が開催補助金を申請予定
35	利用促進	市外競技者	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	平昌オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行った。	B (概ね順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定 ・現在再指定申請中	北京オリンピックに向けた環境の整備を実施
36	支援者育成	推進	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	・定例会議2回、専門部会2回実施。 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会【深川市】 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会【洞爺湖町】	B (概ね順調に実施)		・定例会議2回、専門部会2回実施予定 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会【札幌市】 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会【苫小牧市】
37	支援者育成	補助	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市体育協会がスポーツボランティアの募集を通年でを行い、各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
38	支援者育成	推進	苫小牧駒澤大学との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	苫小牧駒澤大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	健康ウォーキング事業において、若者を取り込むとの意図から大学生が企画したイベントを実施した。また、王子イーグルスの応援事業においても吹奏楽部が参加し試合当日の応援にあたった。	A (順調に実施)		各種イベントでの協力を継続して実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（平成30年度実施実績及び令和元年度実施予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	平成30年度			令和元年度
								実施実績	事業評価	備考	実施予定
39	支援者育成	補助	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 9月2日（日）に人気プロガーのセミナーとアスリートフード料理教室を実施し、12人が参加した。 11月7日（水）にアスリートフードメニューの活用セミナーを実施し、9人の参加があった。その後、開発メニューをの提出があり、5品のレシピをホームページで公開した。 	A (順調に実施)		・市内スポーツイベントへのブース出展を予定
40	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNSの他、新たな試みとして一部イベントではPR動画も作成した。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施
41	PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを作成した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
42	PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康子ども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	教室・講座でのグループダイナミックスを利用した集団指導と個々の身体に合わせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり教室 342人 運動教室 1,629人 	A (順調に実施)	・保健センターと連携して実施	同内容で継続実施
43	PR	子ども	健康に関するイベント実施	健康子ども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	9月の健康増進普及月間に健康意識の向上と健康増進のためのイベントを開催し、体力測定、健康器具の説明・実技を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 9月23日（日）に保健センター、医師会館、市民会館で健康フェスタを開催し、1171名の参加があった。 9月28日（金）に川沿公園体育館で健康器具を使った健康教室を実施し15名の参加があった。 	A (順調に実施)	・保健センター、市緑地公園課と連携して実施	健康フェスタを9月22日（日）保健センター、医師会館、市民会館で開催予定
44	PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	子どものための行事案内作成した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施